



Ⅱ. 富山のみちの達成度報告書・業績計画書

1. 「道路整備8つの目標」と「成果指標」の関連

富山のみちでは、道路整備8つの目標に関連する11の成果指標を定めています。

富山県の目指す道路整備8つの目標(ビジョン)に向けて、各指標に将来目標値を定め、県民の皆さんと一緒に着実に道路整備を進めていきます。

道路整備8つの目標(ビジョン)

成果指標



高齢化社会にも対応した
人にやさしい安全な道づくり

市街地ゆとり歩道割合

人口集中地区(DID地区)内にある歩道のうち、
バリアフリー化された歩道の割合

安全に通学できる歩道割合

歩行者の多い特に重要な通学路のうち、歩道が整備済み
の延長割合

道路交通における死傷事故率

自動車が1km当たり1億台走行した場合に起こる
死傷事故件数



賑わいのあるまちづくりと
一体となった道づくり

市街地の幹線道路における無電柱化率

市街地内を通過する幹線道路総延長のうち、電柱・電線
の無い延長の割合



豊かな自然を守り地球環境
にやさしい道づくり

渋滞緩和によるCO2排出量削減(トピック)

交通渋滞の対策によるCO2排出量の削減効果について
トピックで説明



安全で安心な暮らしを
支える災害に強い道づくり

冬期走行しやすさ割合

県道以上の道路のうち、堆雪路肩の確保や構造物設置、
消融雪施設が設置された積雪に対応した道路の延長割合

緊急輸送道路代替路の確保率

緊急時にも確保すべき道路で通行規制がある区間のうち、
その区間の代替路としての機能を有する道路の確保され
た箇所の割合

第3次医療施設へのアクセス向上(参考指標)

第3次医療施設へ30分で到達可能な圏域内人口の県全
体人口に占める割合



総合的な交通体系の
形成を支援する道づくり

新幹線駅へのアクセス向上(参考指標)

新幹線駅へ30分で到達可能な圏域内人口の県全体人口
に占める割合



地域の活力を
育むための道づくり

渋滞による損失時間

渋滞のない場合の所要時間と実際にかかる
所要時間の1年間の差

安全安心観光周遊ルート確保率(参考指標)

富山県内の観光周遊ルート19ルートのうち、
道路幅員が5.5m以上を確保しているルート数の割合



国内外の交流と連携を
促進する道づくり

規格の高い道路を使う割合

全道路の自動車走行台キロのうち、自動車専用道路
の自動車走行台キロの割合



住民が主役の道づくり









道路行政と住民参加の取り組み(トピック)

道路行政について住民の皆さんとの取り組み事例を
トピックで説明

2. 成果指標の将来目標と整備状況のまとめ

平成17年度は、平成16年度に立てた成果目標を達成すべく事業を進めてきました。その達成度報告と、平成18年度の成果目標を下表に示します。

平成17年度達成度、平成18年度業績計画の一覧表

成果指標	平成16年度 現況値	平成17年度		平成18年度 目標値	平成19年度 目標値
		目標値	実績値		
 高齢化社会にも対応した人にやさしい安全な道づくり					
1 市街地ゆとり歩道割合 (単位:%)	70.6	71.7	71.2 おおむね達成	72.3	77
2 安全に通学できる歩道割合 (単位:%)	73.2	74.7	75.0 達成	77.1	79
3 道路交通における死傷事故率 (単位:件/億台キロ)	81.5	81.2	81.3 おおむね達成	79.5	79 (83※)
 賑わいのあるまちづくりと一体となった道づくり					
4 市街地の幹線道路における無電柱化率 (単位:%)	6.4	6.4	6.9 達成	6.9	8
 豊かな自然を守り地球環境にやさしい道づくり					
渋滞対策を行い、CO ₂ の排出量を削減します。					
 安全で安心な暮らしを支える災害に強い道づくり					
5 冬期走行しやすさ割合 (単位:%)	43.8	44.2	44.2 達成	44.6	46
6 緊急輸送道路 代替路の確保率 (単位:%)	第1次緊急輸送道路	57	57 達成	57	57
	第2, 3次緊急輸送道路	56	67 達成	67	67
7 第3次医療施設へのアクセス向上(参考指標) (単位:%)	77.1	—	77.5	—	—
 総合的な交通体系の形成を支援する道づくり					
8 新幹線駅へのアクセス向上(参考指標) (単位:%)	84.3	—	85.7	—	—
 地域の活力を育むための道づくり					
9 渋滞による損失時間 (単位:万人時間/年)	4,664	4,630	4,519 達成	4,480	4,445
10 安全安心観光周遊ルート確保率(参考指標) (単位:%)	16	—	16	—	—
 国内外の交流と連携を促進する道づくり					
11 規格の高い道路を使う割合 (単位:%)	8.3	8.3	8.4 達成	—	9
 住民が主役の道づくり					
住民のみなさんといっしょに道づくりを進めます					

「道路交通における死傷事故率」は、平成15年度に設定した平成19年度目標値(83件/億台キロ)を既に達成しているため、新たな目標値を設定しました。平成18年度以降も引き続き死傷事故率の低減を目指します。
「渋滞による損失時間」は、H17年度の道路交通センサスの観測データに更新し、より現状に即した実績値へ修正しました。